

実習目的

1. 組織の機能を知り他組織・他職種との連携とチームケアの実際を学び看護の役割を理解する
2. チームの中で複数の対象者・家族への看護を実践する
3. 自己の看護観と今後の課題を明確にする

実習目標

1. 病棟・対象者マネジメントを理解し、組織マネジメントを学ぶ
2. 看護チームの役割と機能が理解でき、看護チームの一員として行動できる
3. 複数対象者への看護が経験できる
4. 自己の看護を振り返り今後の看護について考えることができる

実習期間 2020年6月29日（月）～ 2020年7月10日（金） 計10日間
（ただし、6月29日の移動時間分の事前指導を別日に行う）

実習施設 熊本赤十字病院 こども医療センター
くまもと芦北療育医療センター

実習方法

1. 事前指導後、施設・病棟の概要について調べ受持ち患者の概況（疾患、治療、看護等）を把握し、看護計画立案を行う
2. 受持ち患者は原則2人とし、必要があれば同意書をとる
3. 臨地実習初日に受持ち患者の情報（検査・治療内容や指示等）を収集し、翌日の看護計画とタイムスケジュール作成、優先順位の確認、ケアに必要な物品の確認を行う
4. 看護師指導の下、複数対象者へのケアにあたる
5. 担当看護師へ報告、チェックを受けた後にリーダー看護師に報告する。複数患者に対するケアのマネジメントと医療事故予防のための実践を具体的に学ぶ
6. 臨地実習のうち1日はリーダー看護師に同行し、その役割について学ぶ
7. 臨地実習のうち半日以上は病棟看護師長に同行し、その役割について学ぶ
8. 看護部より施設組織、および看護部組織の経営管理について、事故防止等のための施設全体に亘る組織的な取り組みについて学ぶ
9. カンファレンスは、臨地指導者を交えて毎日30分程度行い翌日の実習につなげる。最終カンファレンスは、最終日に臨地指導者・教員を交えて30分程度行う
10. 臨地実習は、10日間のうち7.5日とする
11. 実習10日目の学内日は、学生のプレゼンテーションによる振り返りと学びの共有の場とする
*個人の課題については、リフレクションシートにより明らかにする
12. 原則として、記録物は毎日担当教員と臨地実習指導者へ提出する

評価方法

1. 出席： 実習日の2/3以上で評価の対象となる
2. 配点： 実習内容 50%、 実習態度 20%、 記録物 20%、 プレゼンテーション10%
3. 記録： 臨地実習における毎日の実習記録、カンファレンス記録、リフレクションシート

実習展開

週	実習日	日時	曜日	場所	午前	午後	内容	
	1	未定		学内	事前指導		患者情報から事前学習 (疾患・治療・看護)	
第1週	1	6/29	月	学内/ 臨地	事前学習	<移動>	実習①	実習挨拶/情報収集/アセスメント/看護計画立案
	2	6/30	火	臨地	施設全体管理における看護職の役割 /実習②		看護管理者より施設及び看護部組織と経営管理について学ぶ	
	3	7/1	水	臨地	病棟管理実習① /実習③		病棟師長に同行し役割を学ぶ	
	4	7/2	木	臨地	病棟管理実習②		チームリーダー看護師に同行し役割について学ぶ	
	5	7/3	金	臨地	実習④		担当看護師指導の下、複数対象者のケアに当たる	
第2週	6	7/6	月	臨地	実習⑤		学生が主体となり複数対象者のケアにあたる	
	7	7/7	火	臨地	実習⑥		担当看護師指導の下、リーダー看護師へ報告する	
	8	7/8	水	臨地	実習⑦ 最終カンファレンス		学びの振り返りと共有、卒業時到達度チェック表入力	
	9	7/9	木	学内	まとめ	プレゼンテーション 資料作成		リフレクションシート作成/自己評価 /記録提出
	10	7/10	金	学内	プレゼンテーション/振り返り/ 記録提出			

*施設全体の経営管理および、病棟管理実習①②は、
施設病棟の状況に合わせ 6月30日～7月6日 のいずれかに行う。

提出記録用紙

表紙の後に様式1から様式5まで順に綴じる

1. 実習評価表 (小児看護学領域) 様式 1
2. 看護統合実習施設・病棟管理実習記録 (小児看護学領域) 様式 2
3. 看護統合実習タイムスケジュール記入用紙 (小児看護学領域) 様式 3
4. 看護統合実習臨地カンファレンス記録 様式 4
5. 看護統合実習リフレクションシート (小児看護学領域) 様式 5

看護統合実習記録

実習場所			
実習期間	年	月	日 ~ 平成 年 月 日
大学名	九州看護福祉大学 看護学科		
学籍番号		氏名	
担当教員名			

看護統合実習評価表(小児看護学領域)

実習施設		学籍番号			
実習期間		年 月 日～ 月 日		氏 名	
評価項目	評価内容	配点	自己評価	臨地指導者評価	教員評価
1. 看護チームの役割と機能が理解でき、看護チームの一員として行動できる	メンバー看護師、リーダー看護師、看護師長の役割と機能を知る	4		/16	
	看護チームにおいて、メンバーシップに基づいた行動がとれる	4			
	看護が継続して24時間提供されていることが理解できる	4			
2. 複数対象者への看護がスムーズに展開できる	複数の対象者を受けもち、看護計画が立案できる	4		/24	
	看護計画を基に優先順位に則ったタイムスケジュールが立てられる	4			
	看護実践の前に、リーダー看護師に報告・相談ができる	4			
	対象者の状況に合わせて計画の調整ができる	4			
	看護の実践中や実践後に、対象者の状態や看護の実践結果、評価をリーダー看護師に報告できる	4			
3. 病棟・対象者マネジメントを理解し、病院マネジメントを学ぶ	施設組織の概要と理念を理解できる	4		/16	
	看護部組織の概要と理念を理解できる	4			
	施設組織内外における他部門との連携を理解できる	4			
	医療事故予防のための組織的な取り組みやシステムについて知る	4			
4. 対象者の人権を尊重し、看護者の倫理綱領に基づいた行動ができる	対象者の価値観を考慮し患者を尊重した対応を考慮することができる	4		/16	
	対象者のプライバシーに配慮できる	4			
	ケアの必要性について対象者の理解が得られるように説明できる	4			
	対象者の看護に責任を持ち、適切な時期に報告・連絡・相談ができる	4			
5. 効果的なデモンストレーションが行える	主体的に準備・発表・討議が行える	4		/16	
	グループメンバーで協力し準備・発表・討議が行える	4			
	グループ間で協力し準備・発表・討議が行える	4			
	実施後の討議から、より良い看護の実践を考えることができる	4			
6. 自己の看護を振り返り今後の看護について考えることができる	求められる記録物は期限内にて提出できる	4		/16	
	自己の行動と思考を正確に記録することができる	4			
	自己の行動と思考の傾向を分析、考察することができる	4			
	文献を用いて今後の看護について考察することができる	4			
合計		100		/84	
学生コメント					
指導者コメント	指導者名				
教員コメント	担当教員名				

看護統合実習 施設・病棟管理実習記録（小児看護学領域）

学籍番号： _____ 氏 名： _____ 臨地指導者名： _____

年 月 日 曜日	実習目標：	
本日の実習計画	実施	考察
学生の感想：		
指導者の意見：		
教員の意見：		

看護統合実習タイムスケジュール記入用紙

年 月 日 学籍番号： _____

臨地指導者： _____ 氏 名： _____

	学生実習計画	A氏看護計画	B氏看護計画	考察および修正、変更
看護 処置				
8 : 00				
9 : 00				
10 : 00				
11 : 00				
12 : 00				
13 : 00				
14 : 00				
15 : 00				
16 : 00				

看護統合実習 臨地カンファレンス記録（第 回）

日時	年 月 日 曜 時 ～ 時	実習場所
出席者	(指導者)	
	(学生)	
カンファレンステーマ：		
テーマを選択した理由：		
<p><記入方法> グループの話し合いの流れを、発言の順番にまとめて記入すること（誰が、どのような発言をしたのかの記入は不必要）。</p> <p><記入する順番></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グループでの話し合いの結果 2. まとめ 3. 臨地実習指導者（スタッフ）のコメント ※重要なので、書き漏らすことがないようにする。 4. 担当教員のコメント 		

看護統合実習リフレクションシート

学籍番号 _____ 氏名 _____

1. この実習を通し、①施設における看護組織、②チーム看護、③複数の対象者への看護マネジメントについてあなたが考えたことを、それぞれについて具体的かつ詳細に書いて下さい。

2. 1. ③について、あなたが取り上げた理由と、あなたのとった行動を書いて下さい。